

〈算数科〉 6年

「大田区学習効果測定」結果の分析

- ・正答率は領域別、観点別ともにすべて目標値を上回っている。
- ・達成率(領域別、観点別経年比較)においても平均正答率がすべて目標値を上回っている。
- ・領域別に分析する区分においても、正答率はすべて目標値を10ポイント以上、上回っている。

重点課題

〈算数への関心・意欲・態度〉

- ・問題文や資料から、分かっていることや問われていることを正確に読み取ろうとする。

〈数学的な考え方〉

- ・言葉、数、図、式、数直線などを使って適切に表現したり、考えを交流して広げたりする。

〈数量や図形についての技能〉

- ・百分率を正確に求める。
- ・立体の体積を正確に求め、式の意味の説明をする。

〈数量や図形についての知識・理解〉

- ・三角柱の展開図を正確に描く。

授業改善策

〈算数への関心・意欲・態度〉

- ・デジタル教科書を活用し、学習課題を把握しやすくする。
- ・日常場面に関連付けたり具体物を使ったりして、学ぶ意欲を高める。
「東京から長野まで○kmあり、時速□kmで走ると・・・」「給食の牛乳は200mL・・・」など生活の中でも、数量や単位について意識させ量感を育てていく。
- ・スキルアップタイム(朝学習時間)に基礎的な計算練習を行い、基礎計算力を伸ばす。
- ・課題解決にあたり、様々な考えを全体で取り上げ、友達の考えから学ぶ場を設定する。説明や考えを聞き、自分の考えをと比較し、自力解決や深い学びへとつなげていく。

〈数学的な考え方〉

- ・数、式、図、数直線を用いて説明したり、友達の考えから学ぶ機会を増やしたりする。
- ・ノート書き方を指導して、考えを分かりやすく整理してまとめ、振り返る時間を確保する。

〈数量や図形についての技能〉

- ・朝学習や家庭学習で、小数や分数の計算練習の時間を確保し、反復練習をする。
- ・小数や分数の計算が苦手な児童には、答えの見当をつけさせ、途中の手順を省略せずに丁寧に書いて計算を進めるようにする。

〈数量や図形についての知識・理解〉

- ・用語、単位や公式などを、図を使ったり活動を通して理解させたりするとともに、日常生活の場でも意識させる。
- ・学習した内容を教室に掲示し、基礎基本の定着を確実にする。